

# 日上市行財政改革大綱（第8次計画）の推進状況について

（令和4年9月30日現在）

## はじめに

行財政改革大綱（第8次計画）は、スタートから2年6か月が経過し、今年度は計画の総仕上げの年となりました。そこで、大綱に掲げた推進事項65件の着実な推進を図るため、担当課所から推進事項の実施内容と進捗状況の報告を受け、令和4年度上期（令和4年9月30日現在）の推進状況をまとめました。

引き続き、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の新しい生活様式に対応するとともに、計画の推進状況を確認しながら、第8次行財政改革を計画どおりに推進していきます。

## 第8次計画の概要

《基本理念》 『未来へつなげる行財政運営基盤の確立』

### 《推進の視点等》

総合計画等に掲げた各種施策の実施

#### 推進視点1

行財政運営の質的向上と効率化の推進

人口減少や超高齢社会への課題に対応するため、人材育成や働き方改革を推進するほか、業務改革、ICTの積極的な活用などを実施しながら、市民サービスの質的向上・行財政運営の効率化を図る。

#### 推進視点2

あるべき都市像に向けた施策の着実な推進

本市のあるべき都市像を実現するため、個別計画に掲げた各種施策の着実な推進を図るとともに、コミュニティを始めとする多様な活動主体との連携・協働により、共にささえるまちづくりを推進する。

将来都市像の実現

《推進期間》

令和2年度～令和4年度（3年間）

《推進事項》

65件

## 1 計画の進捗状況

- (1) 行財政改革大綱（第8次計画）に掲げた推進事項は、その約88%が「計画どおり」であり、コロナ禍においても、おおむね順調に進捗しています。
- (2) Web会議の促進や時差出勤の試行、多様な方法での研修の実施など、感染症に対応した新たな取組が引き続き推進されました。
- (3) 一方、イベント開催による集客者の拡大や、対面で行う研修や支援などを主な取組に掲げている推進事項については、新型コロナウイルス感染症の影響で未だ計画が遅れているものもあり、新しい生活様式に対応した取組が標準となりつつある状況となっています。

表-1 推進事項の取組状況別件数及び構成比

取組状況	件数	構成比
S 計画より進んでいる	0	0.0%
A 計画どおりである	57	87.7%
B 計画より遅れている	8	12.3%
C 未着手	0	0.0%
合計	65	100.0%

表-2 B：計画より遅れている推進事項一覧

推進項目	推進事項	コロナによる遅延
人材育成・確保	No.3 消防職員の知識・技能の維持及び向上（拡充）	○
働き方改革	No.4 労務管理の適正化	○
業務効率化・市民サービス向上	No.33 道路センター業務の委託推進（継続）	
	No.36 日立駅前のにぎわいづくりの推進	○
	No.38 居宅介護支援事業者等に対する支援・指導の充実	○
	No.39 民生委員・児童委員活動への支援	
	No.40 救急車の適正利用の啓発（継続）	○
個別計画の推進	No.56 グリーンツーリズムを通じた中山間地域の魅力づくり	○

表-3 推進視点ごとの取組状況別件数

推進項目		項目数	取組状況			
			S	A	B	C
<b>(1) 行財政運営の質的向上と効率化の推進</b>		<b>48</b>	<b>0</b>	<b>41</b>	<b>7</b>	<b>0</b>
ア	人材育成・確保 (No.1～No.3)	3	0	2	1	0
イ	働き方改革 (No.4～No.6)	3	0	2	1	0
ウ	ICTの活用 (No.7～No.11)	5	0	5	0	0
エ	財源確保・歳出削減 (No.12～No.15)	4	0	4	0	0
オ	公共施設等の適切な維持管理 (No.16～No.29)	14	0	14	0	0
カ	業務効率化・市民サービス向上 (No.30～No.48)	19	0	14	5	0
<b>(2) あるべき都市像に向けた施策の着実な推進</b>		<b>17</b>	<b>0</b>	<b>16</b>	<b>1</b>	<b>0</b>
ア	個別計画の推進 (No.49～No.59)	11	0	10	1	0
イ	コミュニティ等との連携・協働 (No.60～No.65)	6	0	6	0	0
<b>合計</b>		<b>65</b>	<b>0</b>	<b>57</b>	<b>8</b>	<b>0</b>

## 2 推進項目ごとの主な取組状況（概要）

※ 推進事項の取組状況の詳細については、（別表）《P13～》のとおりです。

### (1) 行財政運営の質的向上と効率化の推進（48項目）

#### ア 人材育成・確保（3項目）

限られた人数の職員を有効に活用するため、職員流動体制制度の積極的な活用のほか、救急救命士の育成や消防職員の知識・技能の維持及び向上を図るなど、職員のスキルアップに向けた取組を推進します。

取組状況	件数	構成比
S 計画より進んでいる	0	0.0%
A 計画どおりである	2	66.7%
B 計画より遅れている	1	33.3%
合計	3	100.0%

#### ※ 主な取組

##### 「No.1 職員の更なる能力向上の推進」

- ・第5次日立市人材育成計画「日立市ひとづくりプラン」に基づく事業の実施
- ・“外国人にもやさしい市役所”を目指し「グローバル・イングリッシュ研修」を実施  
おもてなし（前期・後期）コース 各10回実施
- ・感染症対策としてリモートによる講義や動画配信による研修を実施  
従来の対面による研修に加え、感染症対策として多様な方法で研修を実施し、研修機会を確保

リモート・動画配信・資料配布による研修 計 2講座 2回

（※令和3年度年間実績 22講座 27回）

自主研修（通信教育等） 28回 31人

職場研修（新任職員の指導者研修等） 16回 294人

職場外研修（階層別研修、実務教養研修等） 104回 938人

合計 148回 1,263人

## イ 働き方改革（3項目）

職員の業務効率の向上を図るため、時間外勤務の適正管理や時差出勤の導入のほか、決裁区分や会議の開催方法の見直しなど、円滑な業務遂行に向けた取組を推進します。

取組状況	件数	構成比
S 計画より進んでいる	0	0.0%
A 計画どおりである	2	66.7%
B 計画より遅れている	1	33.3%
合計	3	100.0%

### ※ 主な取組

#### 「No.5 柔軟な働き方に向けた取組」

- ・時差出勤・テレワーク・分散勤務を実施

職員の業務効率の向上と新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、引き続き柔軟な働き方に向けた取組を推進

時差出勤 実施件数 374件（延べ人・日）（令和3年度 368件）

実施人数 11人（職員1,367人中 0.8%）

テレワーク 実施件数 144件（延べ人・日）（令和3年度 580件）

実施人数 39人（職員1,367人中 2.9%）

#### 「No.6 円滑な業務遂行に向けた取組」

- ・行政手続に係る押印見直しのフォローアップ調査の実施
- ・効果的な会議の開催方法の周知

これまでの会議の進め方を改善することにより、業務効率化を推進するため、令和3年度に作成した「効率的な会議運営のためのポイント」を再度、職員に周知

Z o o m等を使用した遠隔によるW e b会議を実施 359件

（※令和3年度年間実績 1,235件）

## ウ ICTの活用（5項目）

業務の効率化を図るため、RPA（業務自動化システム）などの先端技術を活用した業務の自動化・省力化のほか、タブレット端末の更なる有効活用など、ICTの積極的な活用に向けた取組を推進します。

取組状況	件数	構成比
S 計画より進んでいる	0	0.0%
A 計画どおりである	5	100.0%
B 計画より遅れている	0	0.0%
合計	5	100.0%

### ※ 主な取組

#### 「No.7 先端技術を活用した業務効率化」

- ・ RPA・AI-OCRを活用した業務の効率化及び従事時間の短縮

【令和4年度実績】 20業務 1,820時間削減

〈令和4年度新規活用〉 7業務 430時間削減

〈令和3年度から継続〉 13業務 1,390時間削減

RPA・AI-OCR（6件）

固定資産税減免処理における生活保護受給者の資産状況確認業務(40h)、  
口座振込申込書入力業務(75h)など

RPA（7件）

個人住民税異動届入力業務(25h)、さくら管理台帳整備に係る関連データ  
取り込み業務(25h)など

AI-OCR（7件）

各種統計データ取り込み業務(40h)、防犯灯データ取り込み業務(35h)、  
災害共済給付金振込業務(190h)など ※（ ）内数字は時間

【令和3年度実績】 15業務 1,860時間削減

（内訳）RPA・AI-OCR：5件、RPA：6件、AI-OCR：4件

## エ 財源確保・歳出削減（４項目）

持続可能な財政運営を確保するため、借地の解消などによる経費削減に継続して取り組むほか、ガバメントクラウドファンディング（用途を具体化した上で募るふるさと寄附金）の導入・活用など、新たな財源確保に向けた取組を推進します。

取組状況	件数	構成比
S 計画より進んでいる	0	0.0%
A 計画どおりである	4	100.0%
B 計画より遅れている	0	0.0%
合計	4	100.0%

### ※ 主な取組

#### 「No.12 新たな財源確保に向けた取組」

- ・ガバメントクラウドファンディングにより7,664万円の寄附金を受領
  - 「かみね公園・平和通り桜更新プロジェクト」（寄附目標額 3,000万円）  
193人から2,655万3千円を受領（6/3から6/30まで）
  - 「ヒタチスターライトイルミネーションプロジェクト」（寄附目標額 2,000万円）  
137人から1,907万2千円を受領（7/5から7/31まで）
  - 「(仮称) 会瀬スポーツ広場整備プロジェクト」（寄附目標額 2,000万円）  
216人から3,102万3千円を受領（9/1から9/30現在）※当初募集期間：10/16まで
- ・広告業者と協定を締結し有料広告を消毒液スタンドに設置
  - 広告業者と「広告付き消毒液スタンドの設置・運用に係る協定を締結  
消毒液スタンドを本庁舎3台、多賀市民プラザ1台の計4台設置  
スタンド1台につき年間48本の消毒液が無償で提供（年間約16万円の経費削減）

#### 「No.13 地場産品等の活用によるふるさと寄附の確保（継続）」

- ・地場産品等のPRを実施し、ふるさと寄附金を約3億8千万円確保
    - 電化製品（洗濯機、炊飯器、LED照明）、パンダ時計、焚き火台、リング狩り体験等を新たな返礼品として19品追加するなど地場産品等を活用し、ふるさと寄附金を確保
    - 申込件数 3,073件、申込金額 3億8,464万円（令和3年度実績 25億7,309万円）
    - 体験型返礼品の創出に向け、関係団体等と協議
- ※ 申込金額は、No.12ガバメントクラウドファンディングの寄附金を含む。

オ 公共施設等の適切な維持管理（14項目）

公共施設の老朽化等の課題に対応するため、施設の長寿命化（トイレの更新及び照明設備のLED化を含む。）や再編のほか、魅力向上など、公共施設の適切な維持管理や有効活用に向けた取組を推進します。

取組状況	件数	構成比
S 計画より進んでいる	0	0.0%
A 計画どおりである	14	100.0%
B 計画より遅れている	0	0.0%
合計	14	100.0%

※ 主な取組

「No.20 文化交流施設等の魅力向上」

- ・各施設において施設的环境整備やコロナ禍に対応したイベント等を実施
  - 「市民会館」：植栽等の環境整備計画を策定
  - 「吉田正音楽記念館」：吉田正生誕100周年記念コンサート及び企画展の開催
  - 「角記念市民ギャラリー」：夏季自主企画展及びワークショップを開催  
壁クロス張替工事を実施
  - 「かみすわ山荘」：敷地内通路の整備、市公式Youtubeに施設案内動画の掲載

「No.24 観光施設等の魅力向上（拡充）」

- ・各施設における環境整備を進め、観光施設等の魅力向上を推進
  - 「かみね動物園」：猛獣舎整備工事しゅん工（7月23日(土)オープン）
  - 「奥日立きららの里」：きらら館デッキ改修、ケビンA・B棟エアコン設置

「No.26 スポーツ広場等の再編検討及び利用環境の向上（継続）」

- ・令和3年度に設計を行った（仮称）会瀬スポーツ広場の建設工事が着工  
令和5年度オープン後の管理体制について検討を重ねるとともに、ガバメントクラウドファンディングにより財源を確保

## カ 業務効率化・市民サービス向上（19項目）

更なる業務効率化や市民サービスの向上を図るため、給与等総務事務の集約化のほか、市民相談業務の充実、救急車の適正利用の啓発、日立駅前のにぎわいづくりに向けた取組などを推進します。

取組状況	件数	構成比
S 計画より進んでいる	0	0.0%
A 計画どおりである	14	73.7%
B 計画より遅れている	5	26.3%
合計	19	100.0%

### ※ 主な取組

#### 「No.37 食品ロスの削減に向けた取組」

- ・令和3年10月から「ひたち食品ロス削減パートナー制度」を開始し、協力店が実施する食品ロス削減への取組を、市ホームページで紹介

令和4年9月末までの登録店舗数 18店舗（令和3年度 11店舗）

#### 「No.41 住宅用火災警報器の設置率の向上」

- ・住宅用火災警報器の設置率が令和3年度実績（78%）を超え80%に到達  
市内住宅120件訪問し、設置状況調査を実施（設置 96件 未設置 24件）  
※（参考）令和3年度住宅火災発生件数：20件（令和2年度：3件）

#### 「No.42 水道検針業務の効率化に向けた取組」

- ・10年以上一度も使用されていない長期休止中メータ5,848個の検針回数を減らし、検針に係る委託料約200万円を縮減するとともに、無断使用防止のため長期休止中メータ618個に止水栓止めを実施

#### 「No.48 学校給食の情報発信内容の充実」

- ・食の安全確保の取組など、学校給食の情報発信内容の充実に向けた取組を推進  
特色のある献立や使用している食材の背景等（日本の郷土料理、地場産物、行事食・食材の旬・レシピ等）をホームページ及び「ひたちナビ」に掲載

特色のある献立 閲覧件数 3,330件（更新 8回）

地場産物の献立 閲覧回数 2,199件（更新 6回）

給食レシピ 閲覧件数 2,861件（更新 5回） 計 8,390件

（令和3年度 21,049件）

## (2) あるべき都市像に向けた施策の着実な推進（17項目）

### ア 個別計画の推進（11項目）

本市の課題である人口減少・超高齢社会、地域経済の活性化やまちのにぎわいづくりなどに関する施策推進のため、個別計画で定める子どもや高齢者、中小企業者に対する支援策を始め、さくらのまちづくりや中山間地域の魅力づくり、学習環境の整備のほか、上下水道施設の計画的な耐震化に向けた取組などを推進します。

取組状況	件数	構成比
S 計画より進んでいる	0	0.0%
A 計画どおりである	10	90.9%
B 計画より遅れている	1	9.1%
合計	11	100.0%

#### ※ 主な取組

##### 「No.50 健康寿命の延伸に向けた取組」

- 健康診査の予約環境の整備、保健指導及び受診勧奨を実施  
令和3年度から新たにインターネット及び専用ダイヤルによる予約受付を導入  
(健診予約者のうち53.9%がインターネットで予約／9月30日時点)  
※ 令和3年度 43.8%  
生活習慣病の予防、改善のためSNS等を活用した情報発信を実施

##### 「No.51 地域包括ケアの推進に向けた取組」

- 認知症への理解を深めるための普及啓発、本人と家族への支援を実施  
認知症サポーター養成講座を実施 サポーター数 累計 12,897人  
(※令和3年度年間実績 累計 12,352人)

##### 「No.54 さくらのまちづくりの推進」

- 衰弱した桜の危険木の倒木を防ぐため伐採等の対策を実施  
台風等による倒木を防ぐため、8本伐採を実施し、道路利用者の安全・安心を確保  
景観や植栽間隔を考慮し、5本の植栽更新を予定

## イ コミュニティ等との連携・協働（6項目）

多様な活動主体との連携・協働の下、まちの持続性を確保するため、自治会・町内会への支援やコミュニティ活動を補完する仕組みづくりのほか、市報の配布方法の見直し、防犯灯のLED化、大学との連携事業などの取組を推進します。

取組状況	件数	構成比
S 計画より進んでいる	0	0.0%
A 計画どおりである	6	100.0%
B 計画より遅れている	0	0.0%
合計	6	100.0%

### ※ 主な取組

#### 「No.60 コミュニティ活動への支援体制の充実」

- ・令和3年度に策定した日立市コミュニティ活動推進行動計画の推進事項「脱炭素社会に向けた全世代型コミュニティ環境活動の充実」の取組を実施  
 ゴミ拾いイベント「スポGOMI」を県北地域で初めて開催  
 （実施日：5月28日、参加者：出場41チーム 123人）  
 9月30日「くさゼロの日」に合わせ、各地域で環境美化活動や広報活動を実施

#### 「No.62 市報配布の在り方の検討と見直し」

- ・新たな配布体制で市報全戸配布業務委託を実施  
 令和3年10月から実施している市報の全戸配布により、配布率はおおむね100%を達成（令和2年度市報配布率 71.74%）  
 【令和4年度】事業者ポスティング 12単会  
 単会ポスティング 3単会  
 町内会併用ポスティング 8単会

#### 「No.63 コミュニティとの連携・協働による防犯対策の推進」

- ・町内会からの防犯灯移管申請を受け、対象とする防犯灯を決定し、町内会等が管理していた防犯灯の約98.1%を市に移管  
 移管申請11,455灯のうち、対象であるLED防犯灯11,245灯の移管を決定

### 3 新型コロナウイルス感染症に対応した取組

以下の推進事項において、新型コロナウイルス感染症に対応した取組を推進しました。

推進項目	推進事項	取組概要
人材育成・確保	No.1 職員の更なる能力向上の推進	・リモート、動画配信、資料配布による研修の実施
働き方改革	No.5 柔軟な働き方に向けた取組	・テレワーク、時差出勤の実施
業務効率化・市民サービス向上	No.35 市民相談業務（専門相談）の充実（継続）	・行政書士相談におけるオンライン相談の試験的実施
	No.36 日立駅前のにぎわいづくりの推進	【屋内型子どもの遊び場】 ・入場制限等の措置を講じた上でイベントを実施
	No.47 博物館収蔵資料等の利活用の推進	・収蔵品等情報をWeb公開を開始

### 4 今後の取組

令和2年4月からスタートした第8次計画の推進期間も残すところ6か月となり、各推進事項の総括を行う時期を迎えています。

各推進項目において、新型コロナウイルス感染症への様々な対応を講じてきたものの、思うような成果を挙げられていない項目も多く、引き続き、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の新しい生活様式に対応しながら、取組を推進する必要があります。

一方で、令和4年度の下期は第8次計画の集大成を迎えることから、推進の目的を改めて見つめ直し、着実な成果が得られるよう、引き続き行財政改革の基本理念である「未来へつなげる行財政運営基盤の確立」の実現に向け注力する必要があります。

さらに、これまでの成果と課題を踏まえながら、令和5年度を初年度とする行財政改革大綱（第9次計画）の策定に取り組み、時代の変化に的確に対応した持続可能な行財政運営を進めていきます。